

南三陸町地域おこし協力隊募集PRオンラインセミナー

まなびがめぐるまち

—南三陸でひらく“学び”の可能性—

「答えを教える」ではなく、
ともに「考える時間」を大切にしたい人へ

12.9 [火]
2025

参加無料

ONLINE

19:00-20:30

地域が教室になる。

防災・環境・暮らしを教材に、
“学びのまち”が描く、新しい教育のかたち。



「地域が教室になる」—— その言葉を実践してきたのが南三陸町です。
震災の経験や自然資源、一次産業等をもとに、子どもたちが“生きた学び”を
体感する場づくりを進めてきました。まちで活躍する地域の実践者たちから、
現場での具体的な事例や想いを聞き、自然環境や子供たちの未来を見据えた
教育の新しいデザインを一緒に考えましょう。

お問い合わせ

南三陸町移住・定住支援センター

〒986-0725

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

南三陸町役場本庁舎1階



<https://www.minamisanriku-iju.jp/>



minamisanriku@pallet.work



0226-25-9552



火曜～土曜 9:00～17:00（土曜のみ12:00まで）

instagram



ゲスト（地域の実践者たち）



阿部 民子

（たみこの海パック）

山形県出身。南三陸町戸倉地区の漁師さんに嫁ぎ、わかめや牡蠣の養殖に携わる。

2012年に南三陸の美味しい海の幸を詰め込んだ海産物ギフト「たみこの海パック」を立ち上げ。「知ってもらうことが海と食を守る」と、オリジナルの紙芝居や体験ツアーなどで、震災からの復興と、海とともに生きる人々の物語を伝え続けています。



高橋 一清

（南三陸311メモリアル）

南三陸町出身。長年、町の職員として地域を支え、定年まで勤務。

現在は「南三陸311メモリアル」の顧問として、防災・減災に関わる教育プログラムや講演、伝承活動を行っています。町の職員という視点と、ご自身の東日本大震災での実体験を基に、命を守るための教訓を伝えていきます。



高橋 直哉

（金比羅丸）

家業である漁師を継いだ高橋さん。代々続く船の名は「金比羅丸（こんびらまる）」。

震災後、多くの人との出会いをきっかけに海の素晴らしさを再認識。養殖を再開し、自慢の船で漁業体験を受け入れています。また、新種化石に名が刻まれるほどのマニアとして、太古のロマンと海の恵みを届ける活動をしています。

イベントプログラム

- 1 **オープニング**
 - ・南三陸町の紹介
 - ・イベントの流れについて説明
- 2 **体験：教育プログラム**
 - ・実際にプログラムで使用している民子さんの紙芝居をミニバージョンで体験
- 3 **トークセッション**
 - ・地域の実践者であるゲストが登壇（現場での実体験や想いを語ります。）
- 4 **交流タイム**
 - ・ゲストに直接質問、フリートーク
- 5 **エンディング**
 - ・地域おこし協力隊募集のご案内



QRを読み取り、Googleフォームよりお申込みください。

【申込み締切】

12/4（木）まで

【連絡事項】

- ・当日使用いたしますオンライン配信URLは、お申込み後、メールにてお送りします。
- ・セミナー終了後、アンケートの回答にご協力ください。
- ・キャンセルの場合、事前にご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただきました情報は、お客様との連絡および移住に関する情報提供にのみ使用し、個人情報保護法に基づき適切に管理いたします。

（一社）南三陸町観光協会で募集中の地域おこし協力隊

環境学習フィールドの東北先進地モデル構築事業（1名）

活動①

首都圏等での出張出前講座の実践と推進

南三陸の自然環境や生業をテーマにした「出張出前講座」を構築し、首都圏や海外の私立学校等へアプローチ・提供していく。

活動②

「いのちめぐるまち南三陸」ならではの学習コンテンツの構築と販売

「出前講座」を提供した学校等への継続的な働きかけとして地域の環境等を素材にした「いのちめぐるまち南三陸」ならではの学習コンテンツを構築、提案する。

募集詳細はこちらから

